

平成 28 年度

事 業 報 告

社会福祉法人 原町成年寮

多機能型事業所：(生活介護事業・就労継続支援 B 型事業)

シャイン

I 運営

働くことを基本に利用者と職員が一丸となって、給食作業を中心に活動した。個々の利用者に合わせて各関係機関と連携しながら支援を行った。給食以外での収益を見込んで、自主生産品（焼菓子・アクセサリー）の製造販売を実施。外部販売店「クルミル」3店舗での販売を開始している。従たる事業所「つむぎ」の利用者も障害特性に特化したこともあり、すこしづつだが利用者も増えている。また、シャイン本体から1名、つむぎから1名の計2名が一般就労を目指すべく就労移行事業所に通うことになった。また、半年間の実習期間を経て一般企業に1名の利用者が就労に結びつくことが出来た。昨年度、生活介護利用者の定員を10名増やしたが、作業拡大及び経営の安定化を考慮すると来年度も生活介護利用者の定員増を予定したい。但し、昨今の衛生管理不足で多発している大規模な食中毒事故を起こさないためにも、利用者・職員の衛生を妥協することなく徹底していく必要がある。

シャイン3F床内の給水パイプから水漏れがあり、床と階段側の壁を取り払いカビを除去する工事を行っている。また、外部業者により、1F・2Fの厨房室を除菌処理している。

【利用者組織体制】

就労継続B型事業所 定員10名 利用者現員10名（男性：7名・女性3名）
生活介護事業所 定員30名 利用者現員28名（男性：21名・女性7名）
（本体：定員24名 利用者現員24名）（つむぎ：定員6名 利用者現員4名）

【会議・研修】

職員会議	月1回：全職員
ケース会議	随時
自主生産会議	随時
給食会議	月1回
軽作業会議	月1回
惣菜会議	月1回
リーダー会議	随時
各研修（内部・外部）	随時

【就労支援事業会計】

売上（40,783,392）円

☆給食（36,745,674円） ・お惣菜（385,544円） ・お弁当（883,660円）
GH配食（2,029,650円） ・自主生産（食品）（388,420円）
自主生産（雑貨）（110,100円） ・自販売機手数料（93,228円）
定期便（120,000円） ・段ボール（10,265円） ・封入作業（6,500円）
受託作業（9,916円）

☆利用者工賃平均工賃

平成28年度（186,886）円／年 （15,574）円／月
昨年度（208,426）円／年 （17,369）円／月

○総売上は上がっているが、生活介護利用者に短時間労働（ウォーキング活動）の方が増え、総体の労働時間が少なくなりました。工賃が時間給の為、平均工賃が昨年度より下がって

しまった。生活介護利用者の工賃は減ってしまったが、就労継続支援B型利用者の工賃は上がっている。

Ⅱ 生活介護事業所

生活介護事業利用者：28名

☆利用者工賃平均工賃

平成28年度（180,878）円／年 （15,073）円／月

昨年度（203,414）円／年 （16,951）円／月

【作業活動】

白衣やエプロン等の洗濯・たたみ・保管、所内清掃・消毒、地域清掃、弁当箱回収・仕分け・カート・番重洗い、社内便封筒作成・配達回収を行っている。

今年度より、新たにウェルピア販売・直売会が開始し、地域交流や作業の意欲向上につながっている。また、所内作業としてピースワークより菓子の箱折・封入を主に受託作業を請け負っている。

自主生産では、アクセサリー・ブックカバー作成を継続し販売会に出品している。

Ⅲ 就労継続支援B型事業

就労継続支援B型事業：10名

☆利用者工賃平均工賃

平成28年度（201,634）円／年 （16,804）円／月

昨年度（198,590）円／年 （16,549）円／月

働く事を基本とし、作業を通して一般就労を意識出来るよう支援を行った。利用者が自分の仕事に責任感や充実感を持てるよう、工賃アップを目指し、給食製造技術の向上を図り、多くの作業が利用者主体で行える様取り組んだ。安全で安定した給食の提供を行う為、利用者・職員ともに高い意識を持ち活動した1年となった。

また日常的に、より良い人間関係が構築できるよう、安心して働ける環境づくりに配慮を行った。衛生面では、定期清掃、手洗いと靴の履き替え、白衣、爪、衣類の清潔、健康状態のチェックなどを毎朝行い、事故防止の対策を徹底した。また家庭及びグループホーム向けに、食中毒対策や対応について情報の提供を行った。作業面では、近隣に向け惣菜販売（直売会や配達）を行った。また、他施設や地域からの弁当注文が徐々に増え、グループホームの食事等の注文が少しずつ定着してきている。来年度は、通常作業に加え外部注文を増やし、さらなる作業の充実と工賃アップ、作業意識の向上に取り組む。

自主生産では、アクセサリー・ブックカバー作成を継続し販売会に出品している。

レジンアクセサリーをクルミル（東京都庁店B1F・丸井錦糸町店2F・伊勢丹立川店4F）にて販売している。

【就労】

・就労を希望する利用者に向け、適性に合った就労先を模索している。必要に応じて面談や実習を行い、本人のペースに合わせ就労への活動を行った。

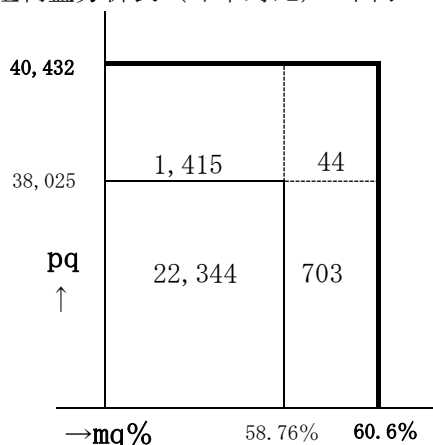
- ・男性利用者1名が、昨年度3月末より実習を行い、9/1より正式に「新巧塗装工業株」に就労している。
- ・女性利用者1名が、数回の実習面談会を経て、11月に飲食店で実習を行った。
- ・女性利用者1名が、就労希望のため9月より就労移行事業所「フォレスト」へ異動となっている。
- ・男性利用者1名が、就労希望のため12月より就労移行事業所「ひゅーまにあ」へ異動となっている。

【作業】

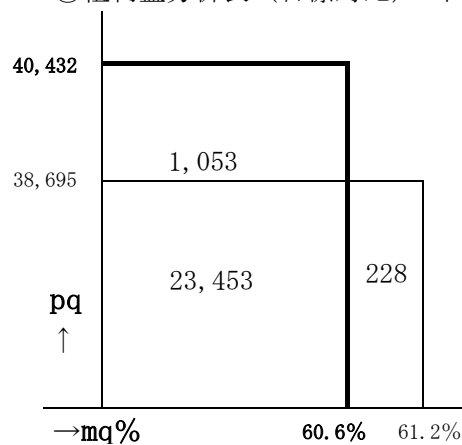
給食売上 (36,745,674) 円・惣菜売上 (385,544) 円・弁当売上 (883,660) 円
 GH配食 (2,029,650) 円・自主生産品 (388,420) 円
 売上計 (40,432,948) 円
 内材料 (15,926,619) 円 原価率 (39.4%)

(28年度実績) 給食売上 (pq) = 40,432 円 単位：千円
 粗利益 (mq) = 24,506 円 (粗利益率 60.6%) (mq%)
 (27年度実績) 給食売上 (pq) = 38,025 円
 粗利益 (mq) = 22,344 円 (粗利益率 58.76%) (mq%)
 (売上目標) 給食売上 (pq) = 38,695 円
 粗利益 (mq) = 23,681 円 (粗利益率 61.2%) (mq%)

①粗利益分析表 (昨年対比)：千円



②粗利益分析表 (目標対比)：千円



○上記の表から、昨年対比及び目標対比とも売上が上がった為、粗利益が増えていることが解る。今年度はGHへの配食が増えたことが売上増に繋がっている。また利益率が改善されている要因もGH配食用のメニューの食材と給食用の食材の組み合わせで無駄のない仕入れが行えた。夏の野菜高騰時、早い段階で冷凍野菜に切り替えたのも利益率改善の要因に考えられる。

<給食調理>

各利用者にあった作業を行っている。技術向上を目指し、それぞれ色々な作業に携われるよう配慮した。HACCPに基づき食品の取り扱いや大型機器の取り扱いなど、衛生的且つ安全

に行えるよう努めた。毎日作業終了時にヒヤリハットとして報告を出し合い、記録を残し事故対策や防止に務めた。

- ・仕込み作業 野菜の洗浄及び切り物。
- ・検品作業 業者から納品された食品の採取保存。記録簿への記入（品質・温度）、所定の場所への収納。
- ・調理補助 フライヤーやスチコン、真空パックでの調理作業の補助。
- ・菓子製造 自主生産品等の菓子製造、袋詰め。
- ・調理室清掃 作業終了時の清掃・ゴミ出し・室内の消毒。

<衛生>

- ・給食作業に関わる方は、細菌検査を月1回行った。
- ・給食作業担当者は、入室時に健康チェック及び身だしなみチェックを毎朝行った。
- ・調理、配膳室には、2回の手洗いとトリミングを行ってから入室し、手洗いには専用の液体石鹸、爪ブラシ、ペーパータオル、アルコールを用意して使用し、定期的に補充を行った。また、石鹸とアルコールをセンサー式に付け替え、直接手が触れないものにした。
- ・インフルエンザ、ノロウイルス対策として、給食作業担当者への健康チェックの強化、館内の塩素による毎日の消毒、嘔吐物処理セットを各階に用意し迅速な対応が出来るようにした。また、各階のトイレから、呼び出し用のベルを設置し、突然の嘔吐下痢の際にトイレ内から職員を呼べるようにした。
- ・利用者に対し、食中毒及び身だしなみや衛生についての講習を行った。
- ・食器の消毒がメラミン食器である為、75℃、2時間30分の低温殺菌消毒を行った。
- ・穀類、調味料、乾物類は、衛生上十分配慮した専用の場所に保管した。
- ・厨房等の害虫駆除を外部業者に委託し実施した。
- ・グリストラップ清掃を行った。定期的に外部業者に依頼し清掃を実施した。
- ・厨房内換気扇清掃を実施した。
- ・葛飾区保健所の定期立ち入り検査があった。特に問題は無かった。(10/4)
- ・虫の混入1件、毛髪1件、ご飯食缶にしゃもじの混入1件があった。再発防止の対策を取り、十分に注意を払い作業を行うようにした。
- ・一つの作業が終わるごとに、次亜水による調理台消毒。
- ・作業工程ラインの交差がないように行った。

<栄養指導>

食事療法が必要な利用者には、その都度アドバイスを行なった。

<給食会議>

現場の状況報告・職員の体制・利用者の体制・業務の課題や方向性について話し合いを行った。今年度も2階給食作業と1階配膳・洗浄作業の職員間の連携に重点を置き話し合いを行なった。安心、安全な給食の提供を行なう為、職員間の意識向上に努めた。

<食事形態及び代替食の提供>

個々のニーズに合わせて代替食、刻み食、ミキサー食、嚥下食、減塩食や糖尿食の提供を行なった。

<検食及び保存食>

検食者は味付け、色彩、形態、意見などを検食簿に記入した。

検品時に原材料をそれぞれ 50 g 採取し、保存食を盛り付け時に献立ごとに 50 g 採取し、-20℃で 2 週間保存した。

<弁当・惣菜販売>

・弁当

日本障害者スポーツ協会イベント（イスラエル人向けにベジタリアン弁当）

かがやけ福祉会運動会、東京ボランティアセンター、グループホーム・通勤寮

新通勤寮開所式・その他

・惣菜（惣菜・オードブル・製菓）

自動車事故対策機構（オードブル）・松本平太郎美容室銀座本店（製菓）・法人内での販売（惣

菜・焼き豚）・直売会（近隣）・その他

<洗浄作業>

責任を持ち作業に取り組む。また、作業効率向上のため役割を定め作業の提供を行った。今後の人員の増員、入れ替わりを見越し、「洗浄メンバーとしての責任を持つ」「全員がどの役割にも対応できる」と意味を込め、部分的に役割を入れ替え作業提供も行った。

現在の役割の更なる作業制度の向上と共に、どの役割に就いても高い精度で作業が行えるよう次年度の計画に組み込んでいく。

<給食配膳>

・作業の流れを利用者主体で行えるように、各担当を決め一人一人が責任を持って作業ができるよう取り組んだ。

・衛生面の意識の向上に努めた。

・個々のニーズに合わせて代替え食や提供食（刻み・ミキサー食・嚥下食・糖尿食）などの対応を行った。

・使用していた、スプーン類を入れる容器だと、雨が降った際、濡れてしまう可能性があったため、密閉できる容器に変更し改善に努めた。

・スプーン類に付着するウォータースポットを軽減するため、洗浄後、一度拭きあげてから熱風殺菌庫にて乾燥を行い改善に努めた。

<配達>

・安全運転での配達を心掛けた。

・挨拶等に配慮できるように支援をした。

<アクセサリー>

工賃アップに向けた取り組みとして、昨年よりも販路を増やし、販売を行なった。

クルミルの 3 店舗・ウェルピアでの販売を開始した。

<自主生産品目>

・折紙レジンアクセサリー・プラバンキーホルダー・ピアス・イヤリング

・ブックカバー・オニギラス・ドーナッツ等

IV 利用者ケース

・年度当初に個々に聞き取りを行い、個別支援計画を作成した。年度途中には、経過の見直しを行い、年度末に総括を行った。

- ・従たる事業所つむぎを含め、利用者の多様なニーズに対応できるよう、作業のみならず健康面、精神面など多方面に配慮し支援を行った。根幹として、一人一人の気持ちや人生に寄り添い、将来を見据えて、本人に対しどの支援が必要なのかを常に考えながら支援を行った。来年度は定員の増加も予定されており、更にきめ細かな支援が求められる。

(NKさん)

8月頃より少しずつ休みが増えていき、10月頃よりほぼ通所できない状態が続いた。家庭より、本人が今までいうことのなかった独語を話すことや、朝本人が「今日は休みます」と言っ行ってこうとしないなどの様子が見られるとの話があった。シャインでも、本人に希望する作業を選択してもらったり、本人と保護者の不安を軽減出来るよう対策をとったが、通所には繋がらず2/17付けで退所となった。

(YSさん)

肺癌の抗がん剤治療および手術のため5月から8月にかけて長期療養となった。通所再開後は、体調に負担がかからないよう、朝は余裕をもって通所し、昼食後早退する形で活動している。本人と相談しながら、当面は上記の通所を続け、1日通所しての活動は体力の回復を見ながら時期をうかがっていく。

(YSさん)

新巧塗装株式会社で実習を行い、9/1付けで正規雇用となっている。

(CKさん)

就労への気持ちが高まり、就労移行事業所フォレストにて実習を行い、9/1付けでフォレストに移行し一般就労を目指している。

(YTさん)

自宅にて不調になり、10/3より送迎時に自宅から出てこず通所できず。不調が続き、10/8通院し、腎臓・肝臓の数値の悪化とジョクソウが酷く、日本医科大学付属病院に入院している。腎臓・肝臓の回復は早く本人の状態も良好だったが、ジョクソウの経過が悪く、皮膚移植を行っている。退院後11/21より通所再開している。現在は、傷跡の治療のため通院は継続しているが、精神的にも落ち着いている様子。朝の体調チェック、様子観察も継続している。

(TOさん)

就労への気持ちが高まり12/1より就労移行事業所ひゅーまにあにて実習を行い、12/1付けで、ひゅーまにあに移行し一般就労を目指している。

V 行事

作業以外にも見聞を広め、日々を充実したものにするため、様々な行事を行った。

今年度は新成人がおり、成人式を行った。季節に合わせた花見や忘年会などの他にも、利用者に希望をとり、1日かけての個別グループ外出を行い、全体外出として7月にバーベキューも行った。折々に余暇を楽しむことで、日常活動への意欲や、充実した生活が送れるよう支援を行った。

また自主生産品の販売会などがあつた際は、希望者で見学を実施した。自分たちが作った製品が販売されている事で、日々の活動の意欲向上につながった。

7/16 バーベキュー・12/19 忘年会・1/13 成人を祝う会・その他（誕生日会、個別外出、販売会
見学）

VI 保健

< 定期健康診断 >

利用者：葛飾区に住民票がある利用者はかつしか健康プラザ（青戸保健所）にて11/10、葛飾
区外に住民票がある利用者は葛飾区健診センターにて12/14に行った。この日に行え
なかった利用者は、別日に健康診断を受けている。

職員：葛飾健診センターにて10月・11月に実施した。

< 健康管理 >

- ・服薬の確認と薬の塗布を行った。昼食時は職員が服薬を確認し、チェックシートに記入して
いる。
- ・毎月月末に血圧と体重測定を行った。
- ・平常時、血圧が高い利用者と職員は毎朝通所時に血圧測定を行った。血圧が高かった時は、
早退もしくは、血圧が下がってから作業に入ってもらった。状態によって、座り作業や軽作
業に入った。
- ・寮や家庭と連絡を密に取り、健康管理を行った。

< 細菌検査 >

- ・毎月行い、提出者の結果は全員陰性だった。

< その他 >

- ・感染性胃腸炎を発症した人：利用者0名
- ・インフルエンザの流行時期は、対策としてマスクを着用してもらった。

VII 防災

【自衛消防訓練（火災・地震・水害・不審者対応）】

火災、地震、水害を想定し館内の利用者・職員を避難場所へ誘導し避難する訓練を行った。
また、不審者対応訓練（ロックダウンドリル）を行った。事前に本田消防署奥戸出張所に「自
衛消防訓練通知書」をFAXし記録として保存した。原町成年寮後援会よりの寄付で防犯の為、
玄関自動ドアの解錠は内側からのタッチ式に改修した。

VIII 地域交流

地域の方々に開かれた施設としてシャインと利用者を理解して頂けるように、奥戸二丁目町
会の活動に積極的に参加した。

- ・地域清掃…利用者の日常的な作業として行った。
- ・町会…地域や町会のお祭りに職員・利用者で参加し（御神輿の担ぎ手・大しめ縄作り）、交流
を深めることができた。

IX ボランティア

今年度、4名のボランティアの受け入れを行った。軽作業や行事の保安に参加してもらっている。また、身だしなみ講座の一環として、松本平太郎美容室銀座本店から美容師が来所し、利用者のカットをしてくれた。

X 従たる事業所 つむぎ

- ・7月、8月、10月につむぎ利用者が増員した。
- ・グループホーム職員等の協力もあり、12月にTさんを就労移行事業所に送り出すことができた。
- ・活動（園芸・ウォーキング・レクリエーション（体操）・創作活動（布の切貼）ゆず屋作業・シュレッダー作業）個々の能力にあわせて提供した。